

“第23回工学部・工学系研究科技術発表会”を終えて



第23回技術発表会実行委員長 森田明保（システム創成学専攻）

第23回工学部・工学系研究科技術発表会を9月30日（火）に開催致しました。

平尾 公彦先生（東京大学副学長 元東京大学工学系研究科長 東京大学工学系研究科応用化学専攻教授）の特別講演「グローバル化、イノベーションと人材育成」をはじめ、口頭発表が12件、ポスター発表・作品展示で9件の発表が行われ、102名（工学系研究科技術職員65名、学内者29名、学外者8名）の方々に御参加頂き、活発な質疑が行われ、意義ある発表会となりました。

発表された方々の中から各賞の選考を行い、研究科長賞を機械工学専攻・諸山稔員氏「振動設計演習の測定に関して」、技術部長賞を応用化学専攻・栄慎也氏「原子線を用いた分析化学実験法の開発」、ポスター賞をシステム創成学専攻・土屋好寛氏「フォトバイオリアクターの開発」の3名が受賞されました。

選考方法は北森技術部長、実行委員全員、委嘱致しました3名の審査員の計20名により、“技術報告”の原稿、“当日の発表”それぞれに応じた評点を基に行われました。

開会に先立ち研究科長と技術部長より温かいメッセージ、平尾先生より特別講演、教員、事務部の皆様のご理解やご支援、技術職員の皆様のご協力によって、無事技術発表会を開催出来ましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

実行委員会発足以来、多くの技術職員が参加し、発表出来るような企画をと尽力して参りましたが、行き届かないために実現出来ませんでした。

多くの反省や課題が残りましたが、無事終了し、実行委員一同少しかの荷がおりました。

来期にはより充実した技術発表会が開催出来るよう、反省を活かし課題を克服出来るように支援を続け、次期に託したいと存じます。